

三重農林建設株式会社 現場見学会概要

1.CIMを利用した施工管理について

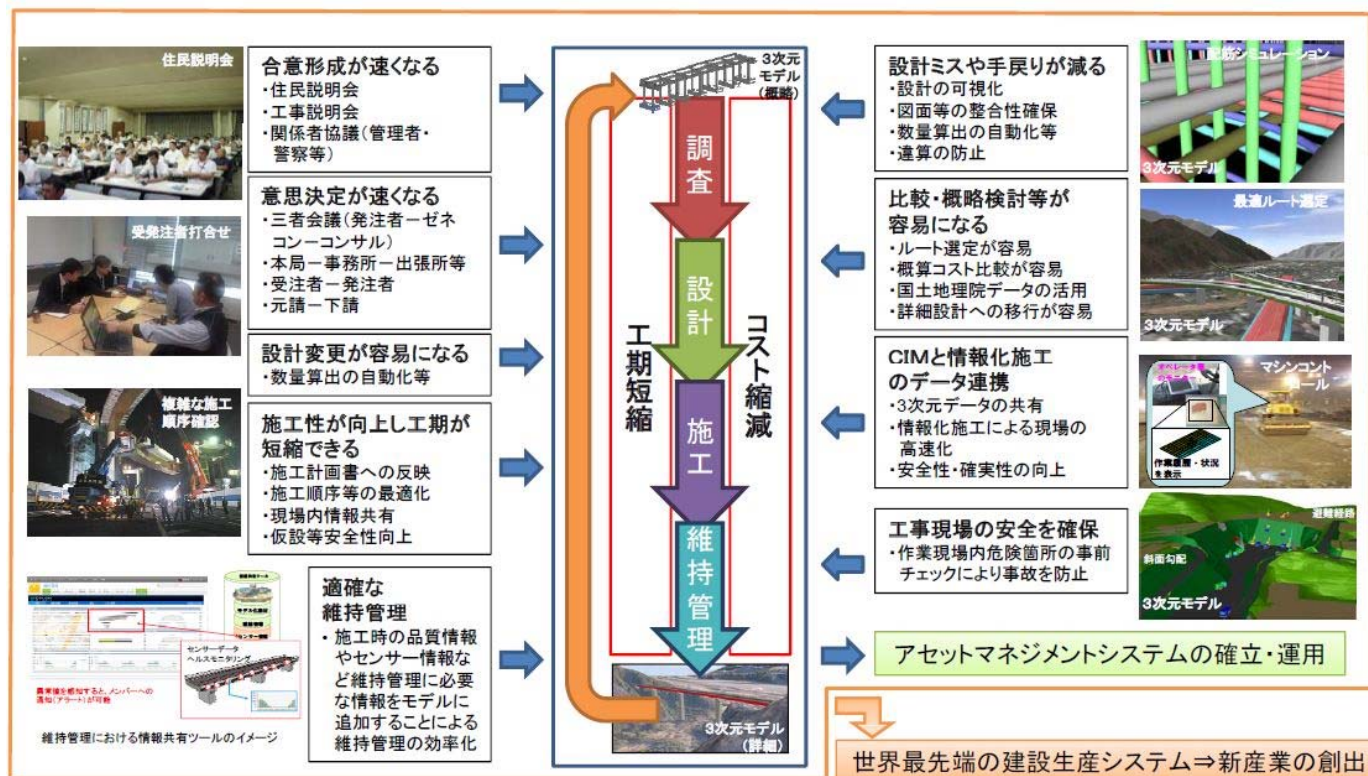
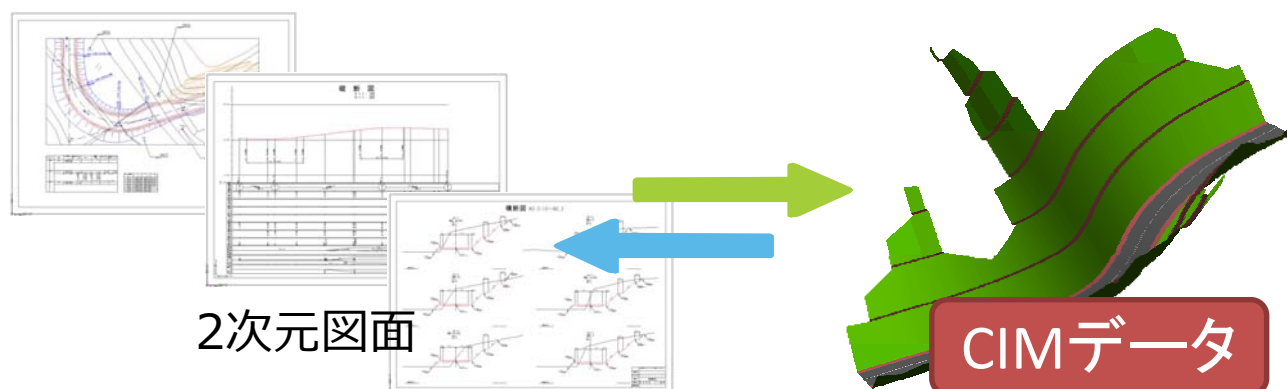
CIMとは・・・

CIM (Construction Information Modeling) (土木分野)

「CIM」とは、計画・調査・設計段階から3次元モデルを導入し、その後の施工、維持管理の各段階においても3次元モデルに連携・発展させ、あわせて事業全体にわたる関係者間で情報を共有することにより、一連の建設生産システムの効率化・高度化を図るものである。

3次元モデルは、各段階で追加・充実され、維持管理での効率的な活用を図る。

出典：国土交通省 技術調査関係「CIMの概要」P1より



出典：国土交通省 技術調査関係「CIMの概要」P3より

2.スマートフォンを利用した現場測量について

第1世代

- あらかじめ測設計算書(機械点からの角度と距離の計算書)を作成・印刷しておき、それを元にトータルステーションを操作し測量を行う方法。

第2世代

- あらかじめ測設点の座標を算出し、座標データをトータルステーションに送信しておくことにより、測設計算書無しで測量を行う方法。

第3世代

- あらかじめ路線計算を行い、路線データをトータルステーションに送信しておくことにより、路線上の任意な点の測量を行う方法。

第4世代

- 座標データ・路線データに加えてCADデータを用いて平面図上の任意な点の測量を行う方法。

観測MAP (CAD図面配置)



WIFI通信



背景図として
平面図を配置

快測ナビ® Std

スマートフォンを利活用してわかりやすい現場測量が可能に

使用ソフト: 施工REVO(CIM) 快測ナビ(スマホ測量) 開発元: 建設システム